

# 新<sup>しん</sup> 緑<sup>みどり</sup> ニュース



病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271  
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



## 関節機能再建センター

当院整形外科では、15年以上のキャリアと関節外科手術を1000例以上執刀している整形外科専門医による『関節機能再建センター』を設置しております。

### ＜＜対象＞＞

膝関節や股関節の痛みでお困りの患者様が主な対象ですが、足関節の痛み、外反母趾でお困りの患者様など、関節外科全般を診察させていただきます。

### ＜＜治療＞＞

当センターのモットーは、患者様のご希望に応じたオーダーメイド医療です。まずは手術が本当に必要か検討し、手術を選ぶ場合も、できるだけ身体へのダメージが少なく、回復が早い治療を選択します。

膝関節の痛みであれば、若くて活動性の高い患者様には骨切り術と呼ばれる、人工物を使わずに下肢のバランスを整える手術も可能です。人工関節置換術を行う場合も、可能な限り半置換術（骨を最大限残し、ダメージの少ない手術方法）を選択しております。

また、人工膝関節全置換術につきましては、より術後の膝の安定性の高いインプラント、膝の曲がりが良いインプラント等、患者様のニーズに合わせて最適なインプラントを選択しております。



人工股関節置換術についても、傷が小さく回復の早いMIS（最小侵襲手術）と呼ばれる手術アプローチと、患者様の体格に合わせて手術中に脚長やバランスを整えられるシステムを使用することにより、手術後一週間以内での早期退院も可能です。

### ＜＜個別対応の入院プログラム＞＞

入院期間やリハビリテーションの進め方は、専門病院にありがちな「手術後〇日目で退院」という型にはまったメニューではなく、患者様のご希望に応じた個別プログラムで対応しています。

早く退院したい患者様にはそれができるように、しっかりリハビリを行い安心して自宅に帰りたい患者様にはややゆっくりしたメニューで治療方針を組んでいます。

### ＜＜患者様の声＞＞

#### 80歳代・女性

両側の変性股関節症で、大学病院では高齢だから手術はしない方が良いと言われて車いす生活でした。この病院では「高齢だから手術が危ないわけではない、リハビリをする気力があれば、また歩けるようになる」と言ってもらい、手術（人工股関節置換術）を受けました。少し時間はかかりましたが、回復期病棟でしっかりリハビリして歩けるようになりました。

痛みから解放され、歩けるようになって本当に良かったと思います。



#### 70歳代・女性



変形性膝関節症で人工膝関節半置換術を受けました。セコムの広報誌をみて、家から遠かったけど受診しました。傷が小さく骨を少ししか削らない方法（半置換術）で痛みが取れると聞いて、手術を受けました。手術後は1週間でしっかり歩けるようになりました。

今は全く痛みなく歩けるし、良く曲がるし、杖なしで旅行三昧です。残りの人生を楽しむことができました。横浜新緑総合病院で手術して良かったです。

### ＜＜受診案内＞＞

当センターは初診の方でも電話で予約可能です。紹介状も不要です。

関節の痛みでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

整形外科部長 上野 岳暁

お問合せ ☎ 045-984-2400 (代表)

新入職医師のご案内 ※ ご挨拶と写真は8月号に掲載します。

内科 岡田 千穂 (おかだ ちほ) 資格：日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会専門医



## チーム医療 | 栄養サポートチーム (NST)

栄養サポートチーム (NST : Nutrition Support Team) は医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士の専門スタッフで構成されたチームです。

低栄養・誤嚥性肺炎・褥瘡 (床ずれ) などの方を対象に、週1回チームで入院患者様を訪問します。2015年からは訪問診療の歯科医師もチームに加わり、主治医の治療方針のもと、患者様にとって適切な方法で栄養状態を改善することを目標に活動しています。

脳卒中の方や高齢の方が安全に食事や栄養を摂るうえで、

- ・口腔ケアや歯の治療
- ・嚙む機能 (咀嚼機能) や飲み込み (嚥下機能) を踏まえた安全な食事内容の評価
- ・ADL (日常生活動作) 維持のためのリハビリ
- ・便秘や下痢のコントロール

なども大切であり、様々な面からサポートを行っています。そして退院後も良好な栄養状態を維持できるよう、患者様・ご家族様の栄養相談や入所施設への情報提供なども積極的に行っています。

栄養管理はすべての治療の基礎となるものであり、栄養状態を良好に保つことは治療効果を上げるために重要な役割を持っています。病気やケガから順調に回復できるようチームスタッフがそれぞれの技術と知識を持ち合い、入院患者様を支援してまいります。

栄養科主任 管理栄養士 古屋 詠子 (NST専従)



チーム回診

栄養サポートチーム



### 当院で救急症例勉強会を開催



6月20日、27日に当院で救急隊の方を対象とした救急症例勉強会を開催しました。

この勉強会は年2回開催しており、今回は「脳神経外科の救急対応」について小菊 実脳神経外科部長の搬送事例を交えた講演のあと、質疑応答・意見交換を行いました。

当院は幹線道路から近いこともあり、市外からも多くの救急搬送を受け入れています。勉強会には横浜市のほか、大和市、相模原市からも多くの救急隊員が参加されました。

横浜新緑総合病院では勉強会を通して救急隊と相互に理解し合うことで、円滑な救急医療の連携を目指しています。



### 第42回 緑区自衛消防隊操法技術訓練会に参加しました

6月21日 (水) 大雨の中、緑区消防操法技術訓練会が開催されました。当院では職員の防災意識を育てるために、毎年、新人スタッフから自衛消防隊を選出しています。今年も屋内消火栓操法女性の部に参加、見事なチームワークで準優勝しました。



平成29年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

平成29年7月15日 (土) 講師 横浜新緑総合病院 泌尿器科部長 石川 公庸 医師  
「生活習慣で夜間頻尿が治ります ことがあります」



会場 十日市場地区センター 2階中会議室 (十日市場駅より徒歩5分)

時間 1時30分～2時30分 お問い合わせ 地域医療連携室 045-984-6216 (直) 045-984-2400 (代)

平成29年9月9日 (土) 講師 横浜新緑総合病院 遠藤 純男 副院長

「脳動脈瘤が見つかったらあなたならどうしますか?」「顔面痙攣ボトックス治療てなあーに!!!」

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→

